

特 44

308

笑

255

168

074996-000-1

特44-308

三笑

金剛 直喜/校

M41

CEL-0920



特 44  
308

三笑

昔の遠く處の本店へ

年陰と申すも其の昔の昔

十八の頃ありし其の昔の昔

昔の昔の昔の昔の昔の昔

昔の昔の昔の昔の昔の昔

明治  
11 9 22  
内交

...



明隆修靜の河津の心 一 時

静海の心蓮花の心 静海の心蓮花の心

招きよぬの心 招きよぬの心

涅慮山の心 石橋の心 静

海りの心 静海の心 静海の心

福女給入の心 静海の心 静海の心

.....

因縁の心 静海の心 静海の心

静海の心 静海の心 静海の心

静海山の心 静海の心 静海の心

静海の心 静海の心 静海の心

静海の心 静海の心 静海の心

静海の心 静海の心 静海の心

〆〜〜〜  
 上日香海の部〜  
 崇徳を好ん 一十遠〜  
 天古〜〜ス金石を好ん〜  
 易い〜  
 易い〜  
 易い〜  
 易い〜

善田を好ん 一十知人と欲を共報河の  
 水ある〜  
 一十人問博最一十角一十  
 一十廻る 一十國を好んは慶を好ん  
 一十おせぬ〜  
 一十琴弓酒の女を好んは静を好ん  
 一十語〜  
 一十語人 一十拍の劇的 一十彭澤の

命とありし旨にありしや  
ヤス 半余日印を解下  
光地 志とありし旨にありしや  
ヤス 松葉を敷  
イノ 葉とありし旨にありしや  
イノ 鎌刈下南山を  
イノ 静る日実の明希の東時に  
ヤス 仙女法を  
イノ 学んて陸道を行く  
ヤス 後とありし旨にありしや

閑森親と徳信と一歩  
ヤス 歩みたりし人  
 天下にもあはれなる  
ヤス 山  
 の鹿渡りし  
イノ 葉の  
 名を語りし  
イノ 葉の  
 泉とありし  
イノ 葉の  
 花とありし  
イノ 葉の  
 花とありし  
イノ 葉の

酒は酒の舞臺に人はいそいで

舞臺の舞臺の花は花の舞臺の

舞臺の舞臺の舞臺の舞臺の

十年を老松の緑に若木の嫩も松の

舞臺の舞臺の舞臺の舞臺の

舞臺の舞臺の舞臺の舞臺の

昔は橋をよりかゝる橋の舞臺

在古より昔に給ひて是は舞臺の

舞臺の舞臺の舞臺の舞臺の

舞臺の舞臺の舞臺の舞臺の

舞臺の舞臺の舞臺の舞臺の

舞臺の舞臺の舞臺の舞臺の

明治四十年九月十五日印刷  
同 年九月二十日發行

京都市下京區室町通四家北合番戶

校訂者 金剛直喜

京都市上京區三条通鼓屋町左角

印刷者 兼發行

檜 常之助

(特電話二五九番)  
(振替財金五五前)





